

単元名 表現運動「表現」 ～クッキングよういどん～

1 運動の特性

(1) 一般的特性

○クッキングについて表したいイメージの特徴をとらえ、友達とかかわり合いながら思いつくまま踊ったり、工夫を加えて踊ったりすることが楽しい運動である。

(2) 児童からみた特性

○表したいイメージに合った動きができたり、友達と気持ちを合わせて動くことができたりするとさらに楽しい運動である。

2 単元目標

(1) 関心・意欲・態度

○表現運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。

(2) 思考・判断

○題材の特徴や動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分に合った課題を見付けることができる。

(3) 運動の技能

○題材の特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ることができる。

○表したいイメージがよくわかるように、互いの違いやよさを探したり見付けたりして動きを工夫することができる。

3 評価規準

| 観点 | ア 関心・意欲・態度 | イ 思考・判断 | ウ 運動の技能 |
|----------------------|---|---|---|
| 学習活動における 具体的な評価規準 | ①表現運動に進んで取り組もうとする。 ②きまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとする。 | ①題材の特徴を知り、踊っている。 ②楽しく踊るためのポイントを知り、自分に合った課題を見つけている。 | ①題材の特徴や感じをとらえてひと流れの動きで即興的に表現することができる。 ②表したい感じを中心に「はじめとおわり」をつけた動きにして表現することができる。 |

4 指導計画と評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
|----|---|---|------|------|------|------|------|-------------|
| 10 | 〈オリエンテーション〉 ○表現運動の学習の進め方を知る ○表現運動の約束を決める ○イメージバスケットを作る(イメージカルタを作る) | 〈ダンスウォーミングアップ〉 ・だるまさんがころんだダンス ・猛獣狩り ・二人組で踊ろう ・じゃんけんダンス ・新聞紙になって などの中から選んで行う | | | | | | |
| 20 | | 〈めあて1〉 ○二人組で、イメージカルタをめくり、思いつくままに踊って楽しむ | | | | | | イメージ別発表会をする |
| 30 | | 〈めあて2〉 ○一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊って楽しむ | | | | | | |
| 40 | | ・学習を振り返り、学習カードを書く | | | | | | 単元を振り返る |
| 評価 | ア① | ア①イ① | ア②イ② | イ②ウ① | ア②ウ① | ア②ウ② | ア②ウ② | |

5 指導の工夫

(1) 学習過程の工夫

○オリエンテーション

学級で行う…題材についてのイメージを豊かにもつことが、表現運動の大きな課題であることから、学級の仲間と、題材についていろいろなイメージを出し合い、想像を膨らませたり、活動への意欲を喚起したりする。また、心と体を解放して安心して学習できるように、表現運動の約束を決める。

イメージバスケット…生活班などの少人数で、一枚の大きめの紙に題材についてのイメージを言葉や絵で自由に書かせるようにする。

イメージカルタ…イメージバスケットの中から、動きにつながりやすい言葉を教師が選び、絵をつけて一枚のカルタにする。20～40枚あると、学習がしやすい。その時間の中では終わらないので、児童に作らせる場合は、休み時間や朝の学習の時間などを利用する。

○ダンスウォーミングアップ

表現運動のダンスウォーミングアップは、心と体を解放することと、自分にしかない個性的な動きを楽しんだり、おへそを中心とした大きな動きを体感させたりすることである。そのために、猛獣狩りやじゃんけんダンス、2人組で踊ろうのようなアップテンポの楽しい感じのものと、新聞紙になつて、だるまさんがころんだンスのような個性的な動きを体感させるものを組み合わせて行うとよい。

○変則スパイラル型の学習過程

即興表現のよさを十分に味わい、グループでの表現も楽しむために、スパイラル型の学習過程にした。ただし、表現の学習に不慣れな3年生のため、3時間目まではめあて1のみにする。

(2) グループ編成の工夫

○めあて1では、2人組を基本として一緒に踊るようにする。真似し合ったり、かかわり合ったりしながら自由に動くようにする。その1時間は同じ2人組で、終わりまで通すようにする。ただし、2人組の組み合わせは毎時変わるようにする。はじめは安心して自分が出せる2人組にし、しだいに交流の輪を広げていくようにするとよい。男女で組んだところをほめたり、「○○さんと組んだら、いつもと違う動きが出てきて楽しかった」という発想にしていくと、積極的にいろいろな友達と組むようになる。

学習の前にあらかじめ、2人組は決めておくともスムーズにできる。

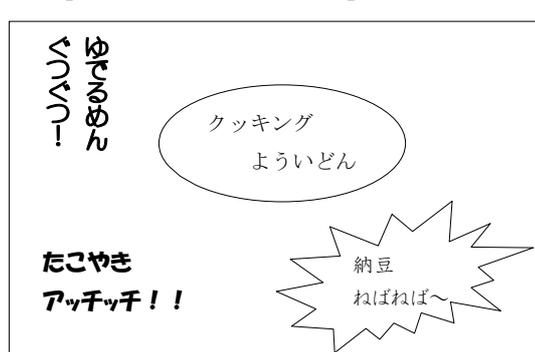
○めあて2では、近くのペアと一緒にグループを作る。めあて1で一番気に入ったイメージをお互いに紹介し、一緒に踊るようにする。人数が4～6人になり、グループでの表現に近づく。そこでイメージがよく伝わるように動きを工夫させる。その際にも、もともになるのはめあて1での自由な即興の動きである。よいと思った動きはお互いに真似し合うことはあっても、グループで動きをそろえたりすることはなく、それぞれのイメージを大切にすることを強調する。中心となる動きに、はじめのポーズや、おわりのポーズ、終わり方のきっかけなどを簡単に決めれば、ひと流れの動きが出来上がるので、長い作品作りではなく、1分程度のひと流れの動き作りに終始するようにする。

6 補助資料

【表現運動の約束例】

ひ…ひろげよう イメージを
よ…ようにに みんなにかかわって
う…うその世界をたくさん作ろう
げ…けんかもしよう事件をおこして
ん…んーとはでにオーバーアクション
お…おもしろい動きを見つけよう
ま…まねよう友だちのよい動き
じ…じっくり工夫
な…なりきっておどろう
い…いろいろな動きにチャレンジ

【イメージバスケット例】



いろいろな方向から自由に書きこませる。

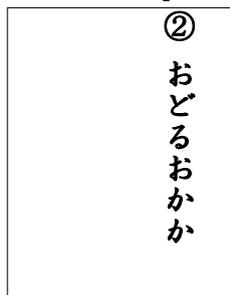
動きの特徴がとらえやすく、イメージが広がりやすい言葉を選ぶ。

【イメージカルタ例】



【イメージカルタの作り方】

- ① B5サイズの厚画用紙を用意
- ② カルタ言葉を書く。
- ③ カットを入れる。
- ④ 吹き出しや動きやすいイメージの言葉を加える。



【ダンスウォーミングアップ 例】

| | | |
|-----|---|--|
| | 「だるまさんがころんだンス」 | 「2人組で踊ろう」 |
| 行い方 | <ul style="list-style-type: none"> 全員で行う。 鬼を1～3人決め、みんなから見えるところに立つ。全員でリズムに乗りながら、「だ～るまさんが、こ～ろんだ！」で、ポーズをとる。鬼と同じポーズをしたら、鬼になる。 | <ul style="list-style-type: none"> 2人組で向かい合って両手をつなぐ。 音楽に合わせて二人で弾んだり、ヨーヨーカップのように回ったり、手をつないだまま、裏返しになったりする。 時にはリズムを崩して、お互いの足の踏みっこをする『あしふみタッチ』も取り入れる。 |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> 鬼はだんだん増えていくので、同じポーズにならないように独創的なポーズをとるようにする。人と違うことをするのがよいという考えを強調する。 音楽は、軽いアップテンポの曲 | <ul style="list-style-type: none"> 半端な人数の場合は、教師と一緒に組んで。また、半端にならない場合は、活発に動けない児童のところに入って3人組になり、全体に声をかけながら、見本になって一緒に踊る。 音楽を一曲通すと長くなるので、2～3分でフェードアウトするとよい。 |
| | 「新聞紙になって」 | 「じゃんけんダンス」 |
| 行い方 | <ul style="list-style-type: none"> 全員で行う。 人型の新聞紙を用意し、教師が新聞紙を動かすのに合わせて動く。 | <ul style="list-style-type: none"> 全員で行う。始めは2人組になってリズムに乗って踊る。 じゃんけんの合図で、からだでじゃんけんをする。負けたほうが勝ったほうの動きを真似してしばらく踊り、また別れて違う相手を見つける。 |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと体をひねったり、早く動かしたりして、リズムの変化をつける。 慣れたら、普通の新聞紙で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 音楽は、軽いアップテンポの曲 じゃんけんの声を大きくさせると動作も大きくなる。 |

| |
|-------|
| 3 年 |
| No.14 |

1 単元名 クッキングよういどん

2 目標 表現運動の学習の進め方を知り、表現運動に意欲をもつとともに、イメージバスケット作りに進んで取り組むことができる。

3 展開 (1/7)

| 時配 | 学習内容と活動 | 指導・支援 (○) と評価 (◇) | 用具・資料 |
|-----|--|---|--|
| | 表現運動の学習の進め方を知り、イメージバスケット作りに進んで取り組むこと | | |
| 10分 | 1 オリエンテーション ○表現運動の学習の進め方を知る。 ・学習の進め方を知り、意欲をもつ。 ・「表現おまじない」などの表現運動の約束を知る。 ・カルタを2人組でめくって踊る。 ・みんなでそろえたりせず、自由に踊る。 ・毎時変わる2人組で、誰とでも組んで踊れるようにする。 | ○「表現おまじない」などの約束を紹介して、人と違う動きや面白い動きなどを恥ずかしがらずに安心してできる雰囲気作りをする。 ○2人組の作り方を告げる。 ・はじめはいつも仲よくしている友達と…安心して踊れる。 ・徐々にあまりなじみのない友達と組むようにする。 など ◇表現運動に進んで取り組もうとする。 | 指導計画の表 表現の約束の資料 例： ひょうげん おまじない |
| 30 | 2 イメージバスケット作りをする ○題材「クッキング」についてのイメージの言葉や絵を自由に模造紙に書きこむ。 例： ・ポップコーンがなべで跳ねる ・納豆をかきまぜてネバネバ ・タコ焼き、熱い！ 例：ドロドロ、ネバネバ、パン！パン！ あっちっち！！ など | ○はじめは全体で、いくつかのイメージを出し合って、書き方の確認をする。 ○4～5人程度（生活班など）のグループで、自由に書きこませる。 ・ポップコーン、納豆などの名前だけでなく、様子や音をあらわす言葉も書かせる。 ・言葉のイメージのほうが大切だが、言葉をたくさん書いたら、絵も書いていいうようにするとよい。 ○イメージバスケットがイメージカルタになることを知らせ、意欲をもたせる。 ・ダンスウォーミングアップについても紹介する。 | 模造紙 マジック ペン 色ペン など |
| 5 | 3 次時の予告を聞く ○ダンスウォーミングアップ ○ねらい1（イメージカルタ） | | |

3 年
No.15・16

- 1 単元名 クッキングよういどん
 2 目標 カルタからいろいろなイメージを広げ、思いつくままに踊ることができる。
 3 展開 (2～3/7)

| 時配 | 学習内容と活動 | 指導・支援 (○) と評価 (◇) | 用具・資料 |
|-----|--|--|---|
| 10分 | <p>カルタからいろいろなイメージを広げ、思いつくままに踊ること</p> <p>1 ダンスウォーミングアップをする。 ○「2人組で踊ろう」</p>  <p>だるまさんがころん</p>  <p>だ!</p> <p>○「だるまさんがころんダンス」</p> | <p>○心と体を解放して、笑顔で踊れるように、声をかけて盛り上げる。</p> <p>◇表現に進んで取り組もうとしている。</p> | BGM |
| 20 | <p>2人組でカルタをめくり、イメージを広げて、思いつくまま自由に踊って楽しもう</p> <p>2 めあて1の活動をする。 ○2人組でカルタをめくり自由に踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルタをめくっては踊り、めくっては踊る活動を繰り返す。 ・2人で相談したりせず、思いつかない時は相手のまねをしたりして踊る。 ・カルタをめくってもうまくイメージが広げられない場合は、次のカルタをめくってもよい。 ・気持ちが途切れないように、次のカルタに移動するまで、成りきったまま。 | <p>・カルタをめくったらすぐに踊ろう</p> <p>・同じ動きを2～3回繰り返してみよう。</p> <p>・カルタに書かれている言葉はあくまでヒント。そこから自分で自由にイメージを広げて踊ろう。</p> <p>○一緒に踊りながら動きをほめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな動きでもほめると自信を持つ。 ・なりきって踊っていたり、特徴をつかんで踊っていたりする児童は、積極的にほめる。 <p>◇題材の特徴をとらえて踊ることができる。</p> <p>○友だちの工夫した動きを見つけるように投げかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりになりきって踊っていたり、イメージの特徴をつかんで踊っていたりする児童は取り上げて褒めたり、紹介して、みんなでまねをしたりする。 | 音楽 (動きやイメージに邪魔にならない程度のBGM) ※なくてもよい。 |
| 10 | <p>○見せ合う活動をする。 2人組同士のペアで、見せ合ってお互いのよいところを見つけたり、アドバイスしあったりする。</p> <p>【見るポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の使い方 ・場の使い方 ・なりきって踊っているか など | <p>○学習カードを書きながら、よかったことを中心に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーや見合ったペアや、ほかの友達のよかったこと ・踊って印象に残ったカルタのこと <p>○次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーを変えて、本時と同じようにカルタをめくって踊って楽しむことを告げる。 | 学習カード |
| 5 | <p>3 本時のまとめをする。 ○学習カードを書き、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日のパートナーのよかったことを書いたり、楽しかったカルタについて話し合ったりする。 <p>○次時の予告を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動に意欲を持つ。 | | |

3 年
No.17～19

1 単元名 クッキングよういどん

2 目標 一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊ることができる。

3 展開 (4～6/7)

| 時配 | 学習内容と活動 | 指導・支援 (○) と評価 (◇) | 用具・資料 |
|----|---|---|---|
| 5分 | <p>一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊ること</p> <p>1 ダンスウォーミングアップをする。 ○「猛獣狩り」 「猛獣狩りに行こうよ！」～歌～ 例：「マントヒヒ」→5人組 ○「新聞紙になって」</p> | <p>○誰とでもさっと組むことができる児童をほめる。 ○おへそを意識して、大きく体を使えるように助言する。</p> | |
| 10 | <p>二人組でカルタをめくり、イメージを広げて、思いつくまま自由に踊って楽しもう</p> <p>2 めあて1の活動をする。 ○2人組でカルタをめくり自由に踊る。 ・カルタをめくっては踊り、めくっては踊る活動を繰り返す。 ・気持ちが途切れないように、次のカルタに移動するまで、なりきったまま。</p> | <p>・気に入った動きを2～3回繰り返してみよう。 ・体で音を立てたり、ペアの友達と組む動きも面白いね。</p> | 音楽 (動きやイメージに邪魔にならない程度のBGM) ※なくてもよい。 |
| 15 | <p>一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊って楽しもう</p> <p>3 めあて2の活動をする。 ○一番よかったカルタを一つ選び、他のペアと4人組になる。始めは片方のペアの選んだカルタの動きを4人です。グループで、一番表したいところがよくわかるように動きを工夫する。 ○次に、もう片方のペアの選んだカルタの動きを4人で踊る。 ・グループの友達と動きを真似し合いながら、めあて1で気に入ったイメージの動きで踊る。 ・友だちとよい動きを真似し合ったり、動きをつなげたり、かかわり合ったりして、踊る。 ・お気に入りの動きは繰り返す。 ・終わりのポーズや終わり方を決める。</p> <p>【例】</p>  | <p>○めあて1での動きを生かし、実際に動きながら、話し合うようにさせる。 ・自分や友達のイメージや動きで踊る中で、グループで共通のイメージや動きを見つけていくようにさせる。 ・寝転んだり、手をつないだままでは、動きが制限され、小さくなりがちなので、離れていてもつながっているつもりなど、大きな動きにつながるアドバイスをする。 ◇決まりを守り、友達と励まし合って練習をしようとする。 ○ひと流れの動き作りのアドバイスをする。 ・一番表したいところから踊り、はじめとおわりを少しつけ足すようにする。 ◇表したい感じを中心に「はじめとおわり」をつけたひと流れの動きにして表現することができる。 ○効果的な表現方法のアドバイスをする。 ・4つのくずしを意識できるような助言をする。</p> <p>・同じような狭い場所で踊っていないかな？ ・動きのリズムは時々変化しているかな？</p> | 「4つのくずし」の資料 |

| | | | |
|--------------------|--|--|-------------------------------------|
| <p>10</p> <p>5</p> | <p>○見せ合う活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くのグループで、お互いに見合い、よいところをほめたり、アドバイスしあったりする。 <p>「繰り返しで、表したい所が強調された。」</p> <p>「急に止まったりしてリズムのくずしができていた。」 など</p> <p>○アドバイスをもとにさらに踊りこむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかったところはさらに自信を持って踊る。 ・アドバイスされたことや、ペアグループのよかったことなどを取り入れて踊る。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>○学習カードを書き、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動したことや、印象的な動きについて感想を書く。今日のパートナーのよかったことも書くようにし、お互いに楽しかったことを話し合う。 ・印象的な友達へのメッセージカードを書く。 | <p>○近くのグループ同士で好きなイメージを踊って見せ合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に踊りたいところは、参加してもよい。 <p>◇表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊ることができる。</p> <p>○表したいことがよく伝わったか、一人一人が十分なりきれていたかなどを考えさせると動きが深まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのくずしは、一つでも工夫できればいいと考える。 <p>○楽しかったことを中心に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの動きのよかったことや、ペアグループやほかのグループのよかったことを書く。 <p>○次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6時間目は、次の時間に全体で発表し合うことを告げる。 | <p>学習 カード メッセージ カード</p> |
|--------------------|--|--|-------------------------------------|

6 補助資料

(1) 題材選びについて (3・4年生)

- 具体的な生活からの題材—「〇〇づくり」(粘土細工, 料理など)「生活」(洗濯, 掃除, スポーツなど)
「〇〇づくり」では, 作る工程を追いかけての表現になることがあるが, あくまでも表したいイメージに終始した動き作りをすることが大切である。たとえば, 「納豆」の動きの面白さは, ねばねばしたところやぐるぐると混ぜ合わせられるところであり, 大豆が蒸されたり発酵したりするところはない程度のものである。表したいイメージのみの動きづくりにしていくほうが, 動き作りがより豊かになる。
動きをスローモーションで表したり, 大げさな動きで繰り返したりする工夫を加えていけるように, イメージカルタの言葉を工夫するとよい。

(2) 技能指導の工夫

- 基本は, おへそを中心に, 全身で大きく動く感じをとらえさせるようにする。
- 低学年の表現遊びでの対象になりきる楽しさに加え, 自分の意図したイメージを他に分かってもらう楽しさが加わる。そのために, 動きには強弱の違いや速さの違い, 高低や直線的, 曲線的などの対比する動きがあることを知らせたり, 動きを繰り返したりすることでの印象の効果を体感させることが大切である。
- 始めは, 教師がよい動きを紹介したり, 時には一緒に動いてみたりするようにすると体感が深まる。次第に児童たち同士でよさを見つけたり, そこから動きの工夫ができたりするようにするとよい。
- 自由に動いている間は, 言葉での一斉の指導ではなく, 常に一緒に踊り, 多くの児童とかかわる中で, 個別に声をかけ, よさを認めたり広めたりしていくようにする。

(3) 見せ合う活動

表現運動での見合う活動は, よい動きを見つけ合うことで児童の意欲を高め, 互いのよさを認め合うことができる。さらに, 児童のイメージを深め, 動きの財産を増やすことにもつながるので, ねらい1・2を問わず, 1時間ごとに必ず取るようにする。見る目を育てることは, よい動き作りには欠かせないことである。

- ・めあて1では…始めは, 見られることに対する照れもあるので, 2つのペアを組み合わせて互いに何を踊っているのかを当て合うゲームにしたり, 真似し合ったりするとよい。なれたら, 学級全体を2つに分け, 半分ずつ交代で見合うようにし, 多くのペアの動きが見られるようにする。
- ・めあて2では…イメージ別グループでペアグループを作る。毎時の動きの変化をわかりやすくするために, ペアグループは毎時変えずに見せ合うようにする。表したいものがよくわかったか, 一人一人がなりきっていたか, 動きの工夫が見られたかなどの視点で見るように助言する。また, 4つのくずしを意識できるように助言するとよい。

【4つのくずし】

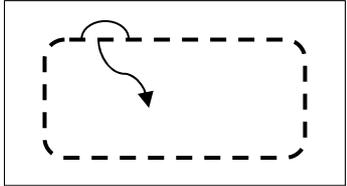
- ・空間のくずし : 踊る方向や場を変化させ, 同じ場所だけでなく, 場を広く使って踊る。
- ・体のくずし : ねじったり, 回ったり, 跳んだりなど体の状態をはっきり変える。
- ・リズムのくずし : すばやく, ゆっくり, 急に止めるなど動きのリズムを変化させる。
- ・人間関係のくずし : 離れたり, くっついたり, からんだりなど, いろいろな友達とかかわり合いながら踊る。

| |
|-------|
| 3 年 |
| No.20 |

1 単元名 クッキングよういどん

2 目標 一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して発表し合うことができる。

3 展開 (7/7)

| 時配 | 学習内容と活動 | 指導・支援 (○) と評価 (◇) | 用具・資料 |
|----|---|--|---|
| | 一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して発表し合うこと | | |
| 5分 | 1 ダンスウォーミングアップ ○「じゃんけんダンス」 ・負けたほうは、すぐに勝ったほうのまねをして踊る。 | ○じゃんけんの合図で、大きく声を出して、大げさなからだでじゃんけんをさせる。 ・2～3分で終わりにする。 | 音楽 (アップテンポの軽い曲) |
| | 表したいイメージをグループで工夫して発表し合おう | | |
| 10 | 2 グループ別に踊る。 ○前時に集まったグループで、発表会の準備をする。 ・前時のアドバイスを思い出してさらに踊りこむ。 ・アドバイスされたことや、ペアグループのよかったことなどを取り入れて踊る。 | ○7時間目は、まとめの時間なので、学級全体で発表会をし、ほかのグループの発表を見たり、学級全体の前で発表したりすることを告げる。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・おへそはいつも同じ向きになっていないかな？ ・気に入った動きを2～3回繰り返してみよう。 ・始めのポーズと終わり方を簡単に決めておこう。 </div> | 「4つのくずし」の資料 |
| 20 | 3 発表会をする。  | ○発表の形や方法(の例)について ・1グループの発表が終わるごとに2～3人感想を発表させる。 ・グループが多い場合は、2グループ一緒に発表してもよい。 ・司会は教師でよい。盛り上がる発表会になるように話し方等を工夫する。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 感想を言ってくれた○○さん、ありがとう！△△さんの動きは素晴らしかったですね！ など </div> | 音楽 (動きやイメージに邪魔にならない程度のBGM) ※なくてもよい。 |
| | <p>【発表の手順 例】</p> <p>① 周りを囲んで、グループごとにまとまって座る。</p> <p>② グループの場所で立ち、表したいイメージを伝えてから、中央に行き、発表する。</p> <p>③ 終わったら、グループの場所に戻り、礼をして座る。</p> <p>④ 見ている場合は、終わったら拍手をする。</p> | | |
| 10 | 4 単元をふり返り、学習のまとめをする。 ○学習カードを書き、感想を話し合う。 ・グループで活動したことや、印象的な動きについて感想を書く。他のグループのよかったことも書くようにし、お互いに楽しかったことを話し合う。 ・印象的な友達へのメッセージカードを書く。 | ◇きまりを守り、友達と励まし合って発表、交流をしようする。 ◇表したい感じを中心に「始めと終わり」をつけたひと流れの動きにして表現することができる。 ○7時間目は、単元を通しての感想や、上手だと思った友達へのメッセージなどを書いて、学習のまとめをする。 ・メッセージカードは、貼り出すと、動きをみる視点を養うことにもつながる。 | 学習カード メッセージカード |

6 補助資料

【空間のくずし】



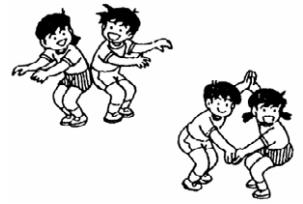
【体のくずし】



【リズムのくずし】



【人間関係のくずし】



Blank writing area with horizontal lines and a drawing of a hand holding a pen.

Blank writing area with horizontal lines and a drawing of a hand holding a pencil.

(クッキングふういどん メッセージカード)

Blank writing area with horizontal lines and a drawing of a starburst or explosion.

Blank writing area with horizontal lines and a drawing of a round object with a handle, possibly a lid or a piece of equipment.

クッキングよういどん 1

クッキング
パートナー

クッキングカルタ

*パートナーと踊ったカルタに○をしよう

- (1) たたきつけて パーン (19) だんだんふくれて 大きくなる
 (2) かきまぜてあっちへこちへ (20) ふくれてわれる
 (3) くるくるふわっ わたあめ (21) ジュュー パチパチ
 (4) 卵がころころ ころがるよ (22) ところところろけるOO
 (5) ふたをあけたら・・・ (23) びっくりOOが とび出した
 (6) あみの上のするめいか くるくる (24) びよーんと のびる
 (7) 湯気 (25) なかなかつかめない ツルン
 (8) おどるかつかぶし フニャフニャ (26) ゆでて やわらかくなる めん
 フワフワ エラエラ (27) はねる はねる パンパン
 (9) ぐつぐつボコボコ あわがでている (28) ああー 形がくずれる ぐちゃ
 (10) ジャガイモが ゴロン ゴロン (29)
 (11) プルンプルンと ふるえているよ (30)
 (12) まぜられて 目が回りそう (31)
 (13) ああ 大失敗 (32)
 どかどか ばちばち どっかーん (33)
 (14) まぜる こねる
 (15) フライパンで あっちうち
 (16) まざる納豆 ネーバナバ
 (17) なべの中で おどるめん
 (18) OOと OOが からまる

お気に入りの
イメージは？

工夫したこと

今日の『クッキングよういどん』をふりかえって (◎, ○, △)

パートナーと楽しくおどりましたか

カルタをめくってすぐにおどることができましたか

動きをいろいろ工夫できましたか

友だちのよいところをみつけることができましたか

友だちに教えてあげることができましたか

パートナーと感じ合っておどることができましたか

感じたこと

クッキングよういどん 2

クッキング
パートナー

グループで
決めた
お気に入りの
イメージは？

- *パートナーと踊ったカルタに〇をしよう
- (1)ただきつけて パーン (19)だんだんふくれて 大きくなる
 - (2)かきまぜてあちへこちへ (20)ふくれてわれる
 - (3)くるくるふわっ わたあめ (21)ジュー パチパチ
 - (4)卵がころころ ころがるよ (22)とろとろとろける〇〇
 - (5)ふたをあけたら・・・ (23)びっくり〇〇が とび出した
 - (6)あみの上のするめいか くるくる (24)びよーんとのびる
 - (7)湯気 (25)なかなかつかめない ツルン
 - (8)おどるかつおぶし フニャフニャ (26)ゆでて やわらかくなる めん
 - フワフワ ユラユラ (27)はねる はねる パンパン
 - (9)ぐつぐつボコボコ あわが出ている (28)ああー 形がくずれる ぐちゃ
 - (10)ジャガイモが ゴロン ゴロン (29)
 - (11)ブルンブルンと ふるえているよ (30)
 - (12)まぜられて 目が回りそう (31)
 - (13)ああ 大失敗 (32)
 - どかどか ばちばち どっかーん (33)

- (14)まぜる こねる
- (15)フライパンで あっちっち
- (16)まざる納豆 ネーバネバ
- (17)なべの中で おどるめん
- (18)〇〇と 〇〇が からまる

グループで
工夫したこと

今日の『クッキングよういどん』をふりかえって (◎, ○, △)

| | |
|--------------------------------|--|
| パートナーと楽しくおどれましたか | |
| グループで感じ合っておどることができましたか | |
| 一番表したいことが分かるように動きをいろいろ工夫できましたか | |
| 友だちのよいところをみつけることができましたか | |
| 友だちに教えてあげることができましたか | |
| 友達のアドバイスを生かしておどれましたか | |
| 感じたこと | |